

横浜市立 東中田小学校

令和 7 - 9 年度版 中期学校経営方針（令和 8 年度修正）

学校教育目標	『自らかがやく、ともにかがやく』 ○自ら考え、ともに学び合う子を育てます。（知） ○思いやりの気持ちをつなげ、実践できる子を育てます。（徳） ○心と体のたくましい子を育てます。 ○「自分が好き」「学校が好き」「まちが好き」な子を育てます。（公） ○視野を広げ、国際社会に生きる子を育てます。（開）				
学校概要	創立 59 周年	学校長 飯島明良	副校長 宗像香織	2 学期制	一般学級：16 個別支援学級：8
	児童生徒数： 502 人		主な関係校： 中田中学校 中田小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉 〈コミュニケーション力〉 〈心身ともにたくましく生きる力〉	中田中学校 中田小学校 東中田小学校	○自分で考え、判断する力を育てます。 ○自分も他者も大切にする心を育てます。 ○中田のまちのよさを愛する心を育てます。 ・小中合同授業研究会を通して、指導の連続性を図る。 ・誰もが主体的に学習できるよう、体験的な学びとICTの効果的活用の充実を図る。 ・既存の児童生徒交流の場を生かし、3校の交流を促進する。 ・ブロック内専任会を柱に、児童生徒指導についての定期的な情報共有を密に行う。

中期取組目標	○子ども一人ひとりの思いや願いを大切に、活力と魅力のある学校づくりを進めます。 ・一人ひとりの学習状況を把握し、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを行います。 ・一人ひとりが互いのよさを認め合い、自己有用感をもち、楽しく学校生活を過ごせるようにします。 ・健康な心と体をつくるための生活習慣の形成を推進します。 ・まちの「人」とのつながりや中学校等との連携を意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。 ・学びと生活を支える教育環境の整備、改善を進めます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①児童がICTを効果的に活用しながら学習を楽しみ、主体的に取り組めるようにする。 ②重点研究テーマを『「主体的に取り組む力」を育む授業～児童の言葉から始まり、学びと生活をつないでいく授業づくり』にし、算数科を中心に、児童の学びと生活が結びつくような授業づくりをしていく。
担当	学習・評価部会	
徳	道徳人権教育	①相手の気持ちや多様な考えを受け止め、自分の考えを広げていけるようにICT機器を適宜利用しながら、道徳教育の充実を図る。②いのちの学習を系統的に行うことを通して、自己を見つめる力を伸ばし、自他の命の尊さについて考えるようにする。③日々の生活や年間を通して行うペア活動、たてわり活動で他者とかかわる良さを味わえるようにする。④互いの思いを受け止め伝え合いながら、個を認めるような環境づくりや児童支援
担当	人権・学校安全部会	
体	健康安全 体力向上教育	①年間を通して、栄養教諭や養護教諭などと連携し、食育や保健の授業、いのちの教育などを充実させる。自分自身の心と体の健康を継続的に心がけようとする態度を養う。②生活意識調査や新体力テストの結果を基に一人ひとりが自己の成果や課題を見つめ、学校全体として取り組むべき課題を分析する。それらを用いて、体育の授業や体力アップタイムを通して児童が体を動かす喜びや楽しさを味わうことができるようにする。
担当	情報・体力向上部会	
公開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①ペア学年やたてわり活動を通して異学年交流を行うことで、人とのかわりを広げ、つながりを感じ、その中で自分のよさを発揮できるようにする。②「ぐるぐる」や「自分づくりパスポート」を通して、なりたい自分を明確にイメージし、自分の成長を感じながら、自分のよさや課題を確認することで着実にめあてを達成しようとする態度を育成する。
担当	たてわり活動・地域連携部会	
いじめへの対応		①職員研修や児童アンケートをもとに、些細な変化を見逃さない。個人面談を年3回行い、家庭での様子を保護者と共有した情報をもとに、いじめの未然防止の体制をつくる。②毎日の健康観察を通して、心身の状態を把握し、児童に寄り添いながらいじめ等の早期発見に努める。
担当	いじめ防止委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①メンターチームを組織し、授業づくりや学級づくりについて計画的な研修計画を立て、月1回の活動を継続して行う。②全教職員が5つの部会の1つに所属し、学校全体を見通した学校運営に積極的に参画していく場を設定する。③ICTを効果的に活用し、事務処理の効率化や情報の共有化を積極的に図り、教職員が子どもと向き合う時間の確保を目指した組織的な働き方改革につなげる。
担当	教務部	
児童指導 特別支援教育		①子どもの思いに寄り添いながら誰一人取り残すことなく学びに向かうためのユニバーサルデザインを全職員で取り組んでいく。②「東中田スタンダード」が現在の社会情勢に沿うものであるか検討し、児童の意見を取り入れながらわかりやすい表現にしていく。③全職員で児童理解に努め、児童の思いに寄り添った具体的な支援・指導を推進する。
担当	児童支援・特別支援教育部会 特別支援チーム	
地域連携		①生活科や総合的な学習の時間を中心に、学校・地域コーディネーターと連携して、子どもの思いを大切にしながら、地域のひと・もの・こととつながることができるようにする。②繰り返し地域と関わることを通して、地域に対する親しみや愛着を深め、まちのためにできることを考え、取り組もうとする心を育てる。
担当	たてわり活動・地域連携部会	
a14		b9
担当		
a15		b10
担当		